



# 八中は今

## 八中人権宣言 ～お互いが助け、励まし合う仲間関係～

校長 日置保次

八幡中学校には、2001年に宣言した「八中人権宣言(オアシス宣言)」があります。これまでの八中人権宣言を、『生徒がより日常的に意識できるものになりたい』という生徒会執行部の願いから、4項目からなる現在の人権宣言に改訂されました。

### 八中人権宣言

私たちの誰もがひとりの人間として大切にされることで、八幡中学校がオアシスのように心から安心し、のびのびと生活できることを願い、ここに「八中人権宣言」として宣言します。

1. オ お互いが助け、励まし合う仲間関係をめざします。
1. ア 相手の心や体を傷つけるような言動はしません。
1. シ 集中し、深まりのある授業(学習)を目指します。
1. ス 過ごしやすい環境をめざし、きまりとマナーを守ります。

4月8日に行われた入学式では、新入生85名の生徒が入学しました。入学式の校長式辞では、八中人権宣言の中の「オ:お互いが助け、励まし合う仲間関係をめざします。」を特に取り上げ、次のような話を新入生にしました。

1組



2組



3組、ほほえみ学級



八幡中学校には「八中人権宣言」という人権宣言があります。この宣言の前文には、「私たち誰もが一人の人間として大切にされる」という文章があります。人間を大切にすることは、どのような行為が当てはまるのでしょうか。私は、「感謝する、感謝される」が人間を大切にすることの一つだと考えています。

**人は、一人で生きていくとヒトですが、周りの人とつながって、人と人との間で生きようになると、人間に変わります。さらに、互いに感謝を伝え合い、大切にしよう関係になると「仲間」となると思うのです。**

八中人権宣言の第一条には「お互いが助け、励まし合う仲間関係を目指します」とあります。これはまさに人に感謝すること、人を大切にすることを目指す内容です。今日の、この新しい出会いに感謝し、自分の周りにはいる人たちに感謝の言葉を掛けられる学校生活を送ってほしいと思います。

## 1. 新しい友達と個性あふれる教師との出会い



入学式後には、それぞれのクラスで学級開きが行われ、中学校生活がスタートしました。どのクラスも初めは緊張感がありましたが、温かくて明るい担任の姿に触れ、和やかな雰囲気になっていきました。これから、新しい友達との交流が増え、活気に満ちた学校生活になっていくと思います。

## 2. 全校をリードする3年生

4月7日には、2、3年生の学級開きが行われ、新しい仲間と教師との出会いがありました。そのすぐ後には、さっそく入学式準備です。春休み中に掃除がされていなかった場所をきれいにしたり、会場を整えたりするなど、新入生が気持ちよく式を迎えられるように準備を進めました。

また、入学式後の歓迎合唱では、3年生生徒が「HEIWAの鐘」を披露しました。3月末から練習を行い、『新入生が新しい生活に早く慣れてほしい、安心して学校生活を送ってほしい』という願いで歌いました。3年生の真剣な姿から、これから自分たちが学校をリードしていくという力強さを感じました。これからの活躍に期待です。

